

今月の内容

- 02 まちの話題
- 04 **特集** 「自分らしく自立した日常生活を営むことができるまち」を目指して
- 08 第2次都城市総合計画（総合戦略）
- 10 特定健診と生活習慣の改善
- 11 家族の命を守る住宅用火災警報器
- 12 きれいな水を未来へ残そう！
- 14 消費者月間／企画展「まじないといのり」
- 15 農業用廃プラスチックの収集日程
- 16 人の風景
- 18 INFORMATION（市からのお知らせ）
- 26 行こうよ！ まるまる！／図書館だより
- 27 美術館情報／施設紹介／歴史探訪／伝承館だより
- 28 盆地生まれの元気レシピ！
- 29 国際交流員のひとりごと／わけもん通信／今月のお便り
- 30 みやこんじょ盛り上げ隊！／今月のプレゼント
- 31 NPO通信／安全・安心情報／番組紹介／現住人口／編集後記



日本一の弓のまちで繰り広げられた戦い

第31回都城弓まつり全国弓道大会が3月24日・25日、早水公園体育文化センターで開催されました。全国の竹弓生産の大半を占める「日本一の弓のまち・都城」を全国に発信し、弓道の普及のために毎年開催される同大会。今年は、中学・高校生の部と一般の部合わせて28都道府県から2,671人が参加しました。選手らは静寂の中、的中を狙い一射一射に集中していました。また、会場では「都城大弓」の展示販売なども行われ、選手や観客らでにぎわっていました。



県内初の4年制理学療法士養成学校の入学式

学校法人都城コア学園の合同入学式が4月7日、総合文化ホールで開催されました。このうち、県内初の4年制の理学療法士養成学校としてこの春に開設された都城リハビリテーション学院では、川内玲奈さん（都城西高等学校出身）が入学を宣誓。祖母が歩きにくくなったことをきっかけに、サポートしたいと思いを強め、同学院の入学を決意した川内さんは「学ぶべきことをしっかり学び、やるべきことをしっかりやっていきたい」と今後の決意を述べていました。

まちかどインタビュー

都城もちお桜まつり さくら福女優勝

「母智丘神社の鈴を鳴らせ！ さくら福男・さくら福女」に、昨年に続き2回目の参加です。前回の優勝に続いて、2連覇の目標が達成できてうれしいです。桜並木は気持ちよく走ることができましたが、後半の290段の階段上りがきつかったです。



西中学校2年生
高田 莉菜さん

今月の表紙

子供らの頭上を 優雅に泳ぐこいのぼり

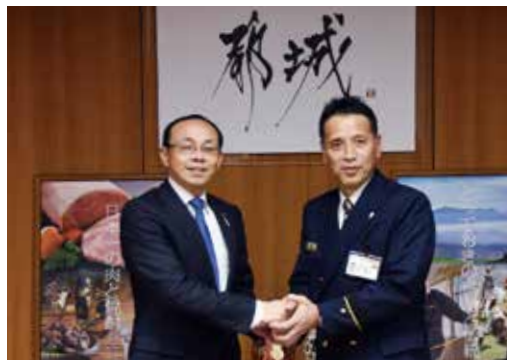
庄内川堤防のこいのぼりが、5月12日(土)まで掲揚されています。子どもらの健やかな成長を願い、庄内商工会青年部が取り組む恒例行事。色とりどりのこいのぼりを一目見ようと、多くの人々が訪れていました。





食と音楽のイベントで 都城を熱く盛り上げる

本市が誇る「肉と焼酎」と音楽のコラボレーションイベント「ONE+NATION」が3月21日、観音池公園で開催され、人気アーティスト9組がステージを熱く盛り上げました。さらに会場では、都城の農畜産物や焼酎を堪能できる店舗が出店。来場者らは、食と音楽を満喫していました。



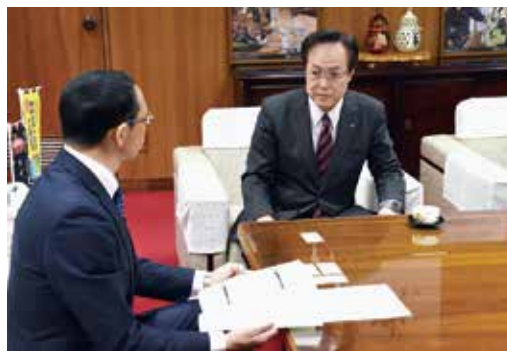
コロナ禍 貢献を固く誓う

市消防局の児玉徹主幹が3月20日、池田市長にJICAシニア海外ボランティア派遣への参加を報告しました。世界各地で発生する災害について、消防士としての知識と経験を生かし、被害を軽減させたいとの思いを募らせた児玉主幹。池田市長は「健康に留意して職責を果たしてほしい」と激励しました。



桜咲き誇る春の都城路 を駆け抜ける

春の恒例イベントとなった都城さくらマラソンが3月25日、高城運動公園発着で開催されました。年代ごとに設定された5kmや10km、ハーフの部などに市内外から約1,600人がエントリー。選手らは、桜咲き誇る観音池公園や高城市街などを駆け抜けながら、健脚を競い合っていました。



県内初の成年後見制度 の取り組み

都城市成年後見ネットワーク会議が3月23日、成年後見に関する資料をまとめたハンドブック「高齢者・障がい者支援のためのハンドブック」の完成を池田市長に報告しました。地域の成年後見制度に携わる団体が合同でハンドブックを作るのは全国的にも珍しく、県内初の取り組みです。



二人の門出を彩る オリジナル婚姻届

本年度、市が新たに制作したオリジナル婚姻届を使って福元伸吾さん・綾香さん（下長飯町）が4月10日、市民課で婚姻を届け出ました。都城にちなんだ牛・豚・鶏と桜、アヤメなどで華やかな印象の婚姻届を手に取り、「かわいらしいデザインなので、記念に2人で写真を撮りました」と、はにかみながら話しました。



不戦への誓いを新たに

都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭が4月6日、都島公園内の旧陸軍墓地で開催されました。参列者140人が献花を行ったほか、大石紗世さん（山田中2年）が「多くの人が戦争を知り、二度と戦争が起こらないよう、次の世代につないでいくことが大切」とメッセージを読み上げ、不戦への誓いを新たにしていました。